

決算書の見方・読み方・磨き方

～数字アレルギーの社長にも伝わる決算書活用術～



日時 2018年 **8月29日(水)**

受講料 **25,000円** (資料代・税込) ※各種会員割引あり

13:30～16:30 (受付開始13:00)

会場 **TAP高田馬場** 定員 **60名**

講師紹介



株式会社アイ・シー・オーコンサルティング 主任コンサルタント／公認会計士／税理士
ふくおか ゆうきちろう

福岡 雄吉郎 氏

名古屋大学卒業後、中堅監査法人へ入社。年商数億円から1000億円を超える企業まで、さまざまな業種の監査業務に従事。2012年、(株)アイ・シー・オーコンサルティング入社。中小・中堅企業に対してキャッシュフローを増やすための財務改善指導(オフバランス、資金繰り改善、投資計画策定)、キャッシュフローを守るための内部監査業務に従事。最近は、オーナー経営者の高額退職金支給や株式相続などの事業承継、M & A (会社売買)の指導で全国を奔走している。

ごあんない

決算書に苦手意識を持っている経営者には、数字を使っていくら説明しても、分かってもらうことはできません。特に、苦手な貸借対照表を、数字ではなく、図で考えることで、決算書の本質は理解できるようになります。

中小企業のコンサルティングの現場で培った財務体質を改善するためのヒントを、経営者の目線から、B/S面積グラフを使いながら解説します。

講座内容

1 なぜ、経営者は決算書が苦手なのか？

2 貸借対照表の見方と読み方

- (1) 数字ではなく図で読もう
- (2) 図から考える科目のバランス
- (3) 業種によって体型は異なる

3 損益計算書の磨き方

- (1) 利益は5種類あることを意識する
- (2) 銀行の格付で重視されるのは営業利益
- (3) 損益計算書を磨くヒントは特別損失にあり

4 企業体力を上げるヒントは、貸借対照表にある

- (1) 真の収益性は、売上高経常利益率ではない
- (2) 企業体力は、収益性×安全性
- (3) 含み損を吐き出すことで、企業体力は向上する

会員割引

- ※1 無 料: 東京定額制クラブ会員、TAP実務セミナー利用券使用、TAPチケット10使用
- ※2 20%off: TAP実務家クラブ会員、相続アドバイザー協議会認定会員

セミナー詳細・お申込は、ホームページからでもご利用可能です。➡

TAP 実務セミナー 🔍

 FAX:03-3208-6255

2018年8月29日(水) 開催

決算書の見方・読み方・磨き方

～数字アレルギーの社長にも伝わる決算書活用術～

受講申込書

ご記入月日	年 月 日					
ふりがな						
事務所名 または会社名						
事業所または 会社所在地 ご住所	〒	TEL	※携帯電話など必ず連絡がつく番号をご記入ください。			
		FAX				
ふりがな		E-mail				
参加者名						
業 種	☐ 弁護士	☐ 税理士	☐ 公認会計士	☐ 司法書士	☐ 不動産鑑定士	認定区分に○印 AFP・CFP® 番号
	☐ 行政書士	☐ 社会保険労務士	☐ 土地家屋調査士	☐ 中小企業診断士	☐ FP	
	☐ 金融機関	☐ 証券	☐ 保険	☐ コンサルティング会社		
	☐ 不動産業	☐ 住宅・建設	☐ その他()			

☐東京定額制クラブ会員 ☐左記以外の会員 ☐一般 ☐TAP実務セミナー利用券使用(No.)

●本書・受講申込書をコピーし、必要事項をご記入の上、FAXにてお申込ください。「受講申込書」が届き次第参加者様宛に、折り返し「受付確認書」をFAXいたします。

●お申込み多数の場合は、事前に締め切らせていただきます。また、事前入金による先着順とさせていただきますので、予めご了承ください。

弊社は不動産鑑定のエキスパート集団です。セミナーの休憩中、終了後に不動産鑑定士による『不動産概算評価・机上広大地判定(無料)』のご相談をお受けいたします。当日、実際の案件(資料)をお持ちいただければ、できる限り対応させていただきますので、受付スタッフまでお気軽にお申し付けください。

※当日中にご回答できない場合がございます。予めご了承くださいませ。

〈TAP高田馬場〉

〔所在地〕

東京都新宿区高田馬場1-31-18 高田馬場センタービル3階

〔交通アクセス〕

JR山手線 高田馬場駅(戸山口)より徒歩3分

西武新宿線 高田馬場駅(戸山口)より徒歩3分

東京メトロ東西線 高田馬場駅(3番出口)より徒歩6分

NPO法人 日本ファイナンシャルプランナーズ協会
法人賛助会員・継続教育認定単位研修機関

TAP 株式会社 東京アプレイザル

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-31-18 高田馬場センタービル3階

TEL.0120-02-8822/FAX.03-3208-6255

 <https://tap-seminar.jp>  seminar@t-ap.jp

